

# プチヴェール(非結球メキャベツ)病害虫防除体系

防除体系(登録薬剤)

2025.12.10の農業登録情報で作成

	対象病害虫	登録農薬名	希釈倍数	使用時期	使用回数	備考	RACコード
殺菌剤	褐斑細菌病、黒腐病、軟腐病、斑点細菌病 【非結球あぶらな科葉菜類で登録】	コサイド3000 (バイカルティ1000倍加用)	2000倍	—	—		F : M01
	白さび病 【非結球あぶらな科葉菜類で登録 (こまつな、チンゲンサイ、タアサイ、みずなを除く)】	アミスター20フロアブル	2000倍	収穫7日前まで	2回以内	展着剤不使用 高温注意 薬害注意	F : 11
	うどんこ病、灰色かび病 【野菜類で登録】	ポトキラー水和剤	1000倍	発病前～発病初期	—		F : BM2
	うどんこ病、さび病、灰色かび病 【野菜類で登録(トマト、ミニトマトを除く)】	カリグリーン	800倍	収穫前日まで	—		F : NC
	うどんこ病、白さび病、軟腐病 【野菜類で登録(なすを除く)】	ジーファイン水和剤	1000倍	収穫前日まで	—		F : NC F : M01
	アブラムシ類 【非結球メキャベツで登録】	オンコル粒剤5	1 g / 株	定植時	1回 (株元散布)		I : 1A
殺虫剤	アオムシ、アザミウマ類、コナガ、ハイマダラノメイガ、ハモグリバエ類、ヨトウムシ類 【非結球あぶらな科葉菜類で登録 (みずな、非結球はくさいを除く)】	スピノエース顆粒水和剤	2500 ～5000倍	収穫14日前まで	2回以内		I : 5
	アブラムシ類 【非結球メキャベツで登録】	モスピラン顆粒水溶剤(劇)	2000倍	収穫7日前まで	2回以内		I : 4A
	アオムシ、アザミウマ類、コナガ、ハイマダラノメイガ、ハスモンヨトウ、ハモグリバエ類、ヨトウムシ 【非結球あぶらな科葉菜類で登録 (なばな類、のざわな、チンゲンサイ、こまつなを除く)】	アフーム乳剤	1000 ～2000倍	収穫7日前まで	3回以内		I : 6
	コナガ 【非結球あぶらな科葉菜類で登録 (チンゲンサイを除く)】	フェニックス顆粒水和剤	2000 ～4000倍	収穫前日まで	2回以内		I : 28
	アオムシ、コナガ 【野菜類で登録(パセリ、えごま(葉)を除く)】	トアロー水和剤CT	1000 ～2000倍	発生初期、 但し収穫前日まで	—		I : 11A
	ヨトウムシ 【野菜類で登録(パセリ、えごま(葉)を除く)】		500 ～1000倍				
	オオタバコガ、シロイチモジヨトウ、ハスモンヨトウ 【野菜類で登録(キャベツ、はくさいを除く)】	ゼンターリ顆粒水和剤	1000倍	発生初期、 但し収穫前日まで	—		I : 11A
	アオムシ、コナガ、ヨトウムシ 【野菜類で登録(キャベツ、はくさいを除く)】		1000 ～2000倍				
アブラムシ類、コナジラミ類 【野菜類で登録(いちごを除く)】	オレート液剤	100倍	発生初期～収穫前日まで	—		I : 未	

※コサイド3000使用の際は、薬害防止のためにバイカルティ1000倍を混用する

※アミスター20フロアブル使用の際は、薬害防止のため展着剤の使用はしないこと、高温時の散布も行わない。

※RACコードとは薬剤(殺菌・殺虫・除草をそれぞれ)の系統を分けたものであり、同じ系統の剤を連続して使用しないことで薬剤が効きにくくなるのを防ぐことに繋がる。

1. 病害虫の発生状況等を見て散布してください。
2. 適正な栽植密度とし通風・作業性をよくしてください。
3. 園地の適切な排水管理に努めましょう。
4. 病害虫の温床となる残渣等は随時、適切に撤去してください。
5. ドリフト軽減ノズルや防薬ネットを使用しましょう。